

# 川根谷内地区

## 2月21日から住居表示を実施

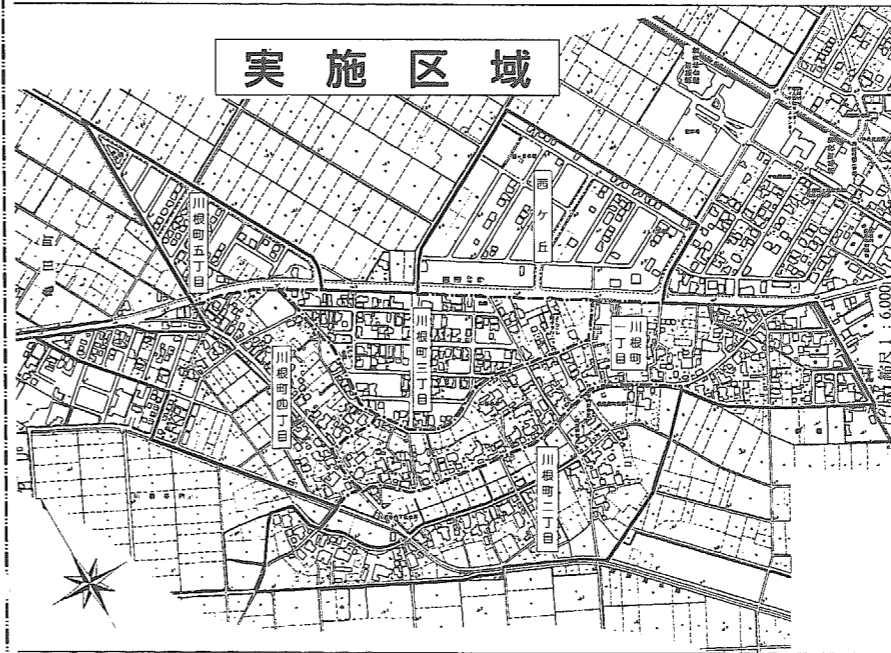
住居表示により、川根谷内地区の住所の表し方が新しくなります。

新しい郵便番号については、川根町一丁目～五丁目は950

0211、苗ヶ丘は950-0212となります。

▼問い合わせ 企画財政課

☎385-2111 (内線250)



### 実施区域

## 耳よりな情報 広域情報ネットワーク

**<新潟市>**  
**第10回にいがた国際映画祭**  
 環日本海やアジアを中心とした国や地域の映画を上映します。  
**▶会場・期間**  
 シネ・ウインド 2月19日～25日  
 新潟市民プラザ 2月19日～27日  
 りゅーとびあ 2月19日・20日  
 新潟ユニゾンプラザ 2月26日・27日  
**▶チケット** 1回券：800円  
 2回券：1,400円、5回券：3,000円  
 フリー券：6,000円、中学生以下：無料  
**▶問い合わせ**：新潟市国際交流協会 ☎226-2053 (新潟市役所 国際課内)

**<小須戸町>**  
**雪割草展**  
**▶日時** 2月26日・27日、3月4日・5日  
 3月11日・12日、18日・19日  
 いずれも午前9時～午後5時  
**▶場所** 小須戸町花とみどり館  
**第23回日本ポケ展**  
**▶期間** 3月3日～5日 午前9時～午後5時  
 (最終日は午後4時まで)  
**▶場所** 小須戸町民体育館  
**▶問い合わせ** 小須戸町役場 ☎0250-38-3111

## けん銃・麻薬の密輸防止にご協力ください(大蔵省・税関)

近年、麻薬・覚せい剤等の不正薬物の青少年への浸透や、けん銃発砲を伴う強盗事件の増加が深刻化しています。

**住居表示実施に伴う国民健康保険証および老人医療受給者証について**  
 2月21日に住居表示が変わる地区の該当者には、後日、新しい国民健康保険証および老人医療受給者証を郵送します。  
 ▼問い合わせ 町民生活課

2月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	8日(火)
	22日(火)
その他の地区	10日(木)
	24日(木)

12月資源ごみ収集実績

空きびん	8.5 t
空き缶	5.8 t
古紙	33.7 t
合計	48.0 t

麻薬・覚せい剤やけん銃等の取締りに関しては、そのほとんどが海外で製造され、密輸される現状から、水際で食い止めることが最も効果的です。大蔵省・税関では、密輸に関する情報を広く求めています。密輸についての情報がありましたら、密輸ダイヤル等を通じて連絡してください。ご提供のありました情報は、秘密を厳守いたします。

## ふる里物語 町史編さんだより 63

### 珍客トラフズク

ここ近年の横越町は、新興住宅地が増え、田んぼのハサ木もすっかりなくなり、ひと昔までよく見かけられた野鳥も、かつてほど多く見られなくなりましたが、広い庭と高木をもつ横越町内のいくつかの民家には、時折野鳥の珍客が訪ねてきます。今回は、横越で確認されたトラフズクとその生態について、ご紹介します。



横越中の民家で確認された成鳥のトラフズク

**1. 形態**  
 フクロウの仲間であるトラフズクは、頭に耳のような耳羽、または耳角があります。橙褐色の顔と赤褐色の眼、体に縞模様があるのが特徴で、体長は約36～38cmです。  
 トラフズクの「トラフ」は、体の模様が虎斑になっていることに由来し、「ズク」は木兎(木菟)と書かれるように、①脚が兎の脚に似ている、②木にいる兎のような耳を持った鳥、という意味です。  
 フクロウ類として、物の正確な距離を感じることができる正面に並んだ眼を持ち、首は左右で360度も回り、嘴は頑丈な鋭い鉤形で、獲物を引き裂くことができます。



幼鳥のトラフズク(横越中)

**2. 生態**  
 2月ごろ、本州以北の平野部の松杉林・集落周辺の林地に飛来して繁殖する留鳥で、横越町内でも沢海・焼山・木津などで繁殖が確認されています。  
 3月～4月、カラスやトビが捨てた古い巣に、雌が産卵・抱卵を始めます。卵は約一か月で孵化し、雄は餌を運び続けます。餌(獲物)はネズミ・小鳥類などです。  
 約3週間で幼鳥は巣立ち、周辺の枝にとまります。親鳥は、夜は餌運び、昼は幼鳥の近くにおり、侵入者が近づくと鳴き声(クワ、クワ、クワ)をあげ、侵入者に接近し、威嚇します。

フクロウ類は夜行性で、狩りは夜間に行います。日中は松や杉の幹に近い枝にとまり、身動きせず、じっとしています。特に、トラフズクは擬態の名手で、羽を体にびったりつけて木の枝のようになっています。  
 フクロウ類は餌の不消化物(ネズミの毛・骨・小鳥の羽毛など)を丸い固まり(ペリット)として吐き出すため、木の下のフクロウ類を発見することができません。また、小鳥(カワラヒワ・ヒヨドリ等)の警戒声によっても、フクロウ類の存在を知ることができます。  
 9月ころになると、トラフズクの姿は見えなくなります。関東以南の温暖な平地に移動するとも言われています。  
 (自然・原始古代 中世担当 神田一正)

### 「厚志」感謝

町の福祉に役立ててほしいと、横越中地区青少年育成会(会長 森正人さん)より、「スルメ募金」の売上金の一部3万円が寄付されました。大変ありがとうございました。

## 俳句

句題 雪晴 榎茸 除夜の鐘

- (公募作品 高点句)
- 神田斗子 子の放つ鳩雪晴の天に消ゆ
  - 市村横雲子 しばらくは妻も無口に除夜の鐘
  - 藤崎道子 村三寺聞きわけており除夜の鐘
  - 加藤喜秋 雪晴れて野沸に花生けに行く
  - 小林竹生 雪晴やリフトは山へ人運ぶ
  - 谷井野武士 雪晴の風に湖面の皺増ゆる
  - 坪谷一九一 新らしき義歯の歯ざわり榎茸
  - 佐藤豊吉 雪晴や駅長一人ホーム掃く
  - 村木緋佐子 生き上手卒寿の母や除夜の鐘
  - 坪谷耕雨 雪晴れの竹蒼天へ雪弾じく